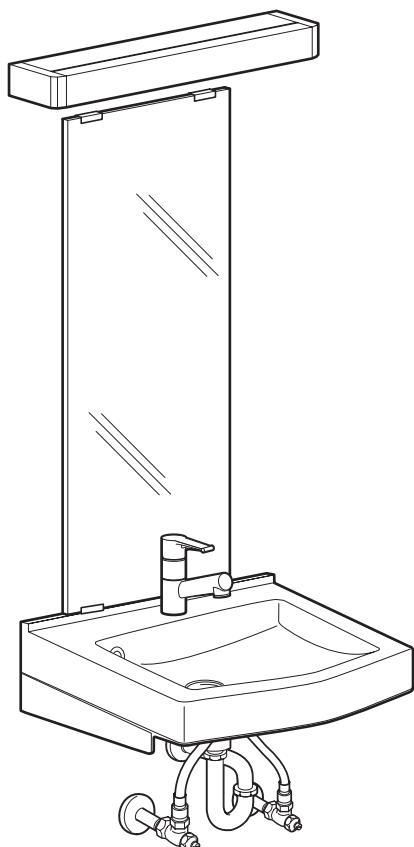


取付設置説明書 洗面化粧台 アクアハート洗面

W580



■取付設置説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取付設置してください。

特に「安全上のご注意」(2~3ページ) は、取付設置前に必ずお読みください。

■取付設置説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で取付設置されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

また、その取付設置が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■配管工事は、すべて「水道法」「建築基準法」「各都市の条例、規定」に準じて行ってください。

■梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。

もくじ

安全上のご注意	2
取付設置上のお願い	4
各部の名前	5
同梱部品	5
寸法図	7
取付設置前の確認	8
取付設置手順	9
点検(仕上げ)	16

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、
説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

！警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。

！注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

！警告

	絶対に分解したり、修理・改造したりしない 落下して、けがの原因となります。		メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に LED 照明を取り付けた場合は、金属部を絶縁する 漏電、火災のおそれがあります。
	設置時にねじなどで電気コードを傷つけない 電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。		LED 照明のスイッチが調光器付きの場合は、一般的の入切スイッチに交換する 火災のおそれがあります。
	電気工事は、関連する法令・規程にしたがって 必ず「有資格者」が行う 火災、感電、水漏れの原因になることがあります。		
	組み込まれる電気機器・水栓などについては、 それぞれの取付・設置説明書および製品本体 の表示事項を守り、正しく設置する 思わぬ事故や故障の原因になることがあります。		製品の固定は壁構造を確認し、指定の位置に 固定用桟木があることを確認し、取付設置 説明書どおり正しく行う 落下事故の原因となります。
	結線後、確実に結線されているか、コードを 軽く引っ張り確認する 火災の原因となります。		固定は、必ず指定の取付部品、ねじ類を 使用する 落下して、けがの原因となります。
	コードは必ず指定の取り出し口から出す コードを本体と壁の間に挟み込むと発熱、火災 のおそれがあります。		水道工事は、関連する法令・規定にした がって必ず「有資格者」が行う 水漏れ、拡大損害の原因となります。
	電源線は端子台の差込穴の奥まで確実に 差し込む 差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれ があります。		

⚠ 注意

 禁止	<p>洗面ボールの上に乗って作業しない 破損して、けがをするおそれがあります。</p> <p>木部組み立てに関してはインパクトドライバーを使用しない ねじが空回りして部品固定ができずに部品が落なし、けがをするおそれがあります。</p> <p>湯側給水管と止水栓を接続するときは、オーバーフロー ホースと湯側給水管を接触させない オーバーフロー ホース表面が湯側給水管で摩耗し、水漏れするおそれがあります。</p> <p>照明器具の上に物を載せない 落下・破損して、けがをするおそれがあります。</p>	 必ず守る	<p>組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する 思わぬ事故や故障の原因となります。</p> <p>配管工事は確実に行う 水漏れの原因となります。</p> <p>工事完了後は、洗面ボールや水栓のがたつきや配管接続の緩みがないことを必ず確認する 使用中に落なしして、けがをするおそれがあります。</p> <p>排水器具・排水管の取り付け、および給排水管の接続部分のシールは確実に行う 水が漏れたり、湿気が上がり、床などが腐るおそれがあります。</p>
	<p>水道工事後は必ず、給水・給湯を行い、配管接続部および給排水各部の水漏れがないことを確認する 水漏れ、拡大損害の原因となります。</p> <p>排水トラップ・排水管・止水栓は指定の位置に接続し、給排水部や水栓などに無理な力がかからないことを確認する 水漏れ、拡大損害の原因となります。</p>		<p>ミラーおよびミラー受け金具は取付指定位置に確実に取り付ける 使用中に外れるなど、けがの原因となります。</p> <p>シーリング材充てんは指定個所に確実に行う 確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。</p>
	<p>ねじで固定する場合は、必ずドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭(スリワリ+)つぶれのないようにする 落下・破損して、けがをするおそれがあります。</p>		<p>取付設置完了後は、排水栓を閉めた状態で、吐水を全開にして水がボール面からあふれそうな場合は、止水栓を絞って流量の調整を必ず行う 水漏れ、拡大損害の原因となります。</p>
			<p>排水トラップ・排水配管は指定の位置に接続し、排水管に無理な力がかからないことを確認する 排水管取付部が破損し、水漏れ、拡大損害の原因となります。</p>
			<p>工事完了後は、ミラーの傾き、がたつき、ゆるみがないことを必ず確認する ミラーの取り付けに異常があると、使用中に落なしでけがをするおそれがあります。</p>

取付設置上のお願い

全般

- 水栓は、市町村の水道局の許可が必要な場合、許可がおりてから工事を行う
寒冷地には寒冷地仕様の給水栓が必要です。
- 上水道でのみ使用する
井戸水（地下水）を使用した場合、スケールなどの発生で製品の故障の原因となります。
- 直射日光や殺菌灯の光があたる場所での使用は避ける
褐色やソリの原因になります。
- 電源は必ず適正配線された屋内配線または、コンセントから取る
- 浴室など湿気の多い場所への設置は避ける
漏電したり、木部が水分を含み膨れたりするおそれがあります。

- 水栓からの吐水量が少ない場合は、吐水口先端の整流網・散水板を外して掃除する

吐水口先端に配管の切粉など、ごみが詰まっていることが考えられます。

- あらかじめ「混合水栓の使用条件」を参照し、給水・給湯圧を確認する

混合水栓は通水抵抗が大きいため、給湯機器の種類や水圧の条件により、十分なお湯の量が得られなかったり、湯水の混合が円滑にできない場合があります。

- 水栓のレバーを全開にして、洗面ボールから水があふれる場合、必ず止水栓を絞って、流量調整する

水栓

- 「給湯圧」は「給水圧」よりも低く設定する

電気温水器

- 電気温水器は、市町村の水道局の許可が必要な場合、許可がおりてから工事を行う

- 電気温水器はボイラーに属しません。ボイラー技師を雇用する必要はありません

- 給水は水道水以外は使用しない

塩分・石灰分など不純物が多く含まれている地域では使用しないでください。

- 電気温水器を設置する場合、建築側に電源コンセントが必要です

- アース工事は必ず行う

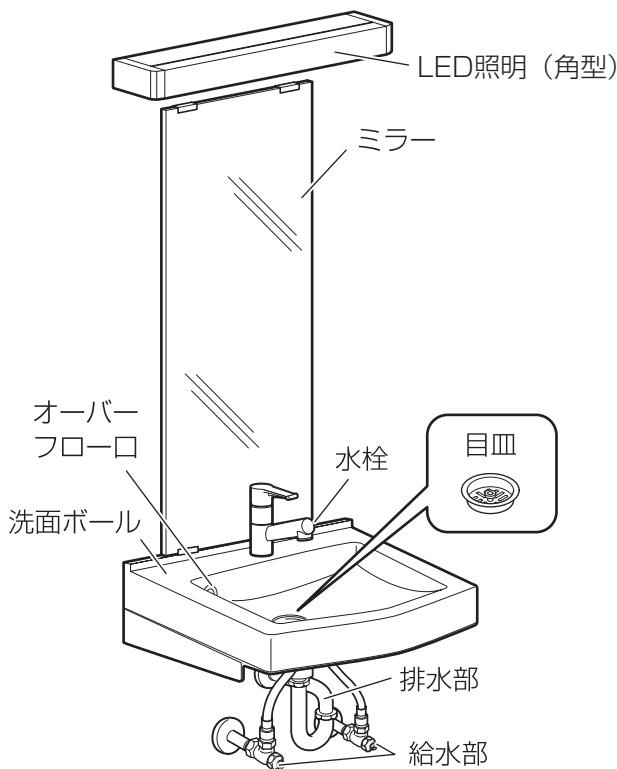
- 電源は必ず適正配線された専用分岐回路から取る
電気温水器用とミラーキャビネット用の2回路必要です。

LED照明

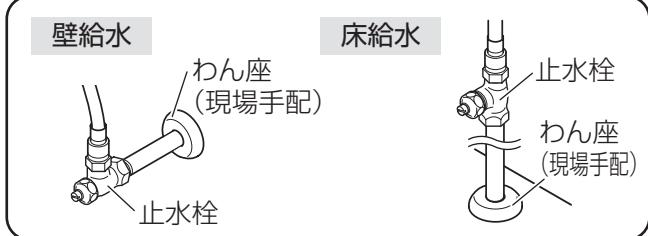
- ほたるスイッチと接続する場合は、照明器具1台につきスイッチ3個までにする

4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切りにしても消灯しないことがあります。

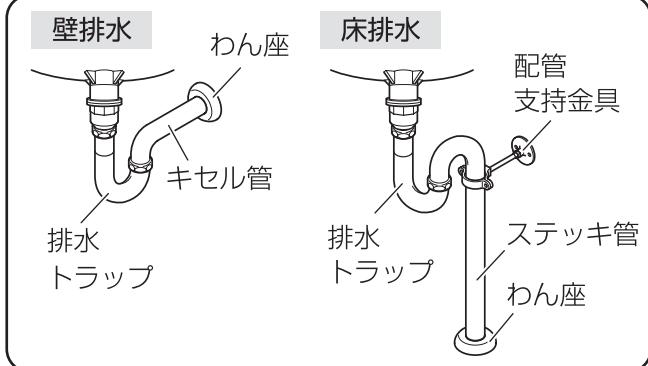
各部の名前



■給水部



■排水部



各部の名前

同梱部品

同梱部品

[寸法単位: mm]

■洗面ボール・ブラケット

部品名	入り数	部品名	入り数
洗面ボール	1	壁排水 ・わん座 ・排水トラップ ・キセル管	仕様により どちらか 1 セット
ブラケット	1	床排水 ・わん座 ・防臭ゴム ・排水トラップ ・ステッキ管	
バックハンガー	1	排水トラップ ・わん座 ・防臭ゴム	
壁面固定ねじ キャップ付き ④ $\phi 4 \times 45$	19 (予備2本 含む)	配管支持金具 (固定ねじ④ $\phi 4 \times 22$) (2本同梱)	1
洗面ボール固定ねじ キャップ付き ④ $\phi 4 \times 25$	5 (予備1本 含む)	目皿	1
スペーサー	20	注意ラベル	1
		取扱説明書・取付設置説明書(本書)	各1

■水栓

部品名	入り数
シングルレバー洗面混合水栓	1

■止水栓（オプション）

部品名	入り数
止水栓 壁給水	仕様によりどちらか 1 セット
床給水	

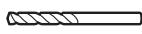
■ミラー（品番：VA235056）

部品名	入り数	部品名	入り数
ミラー 315×905	1	上フレーム	2
		下フレーム	2
		ミラー固定ねじ なべタッピンねじ Φ4×25	4
		フィッシュヤーアンカー	4
		※本製品には使用しません。 廃棄してください。	

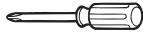
■LED照明（角型）

部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数
本体	1	取付板固定用ねじ なべΦ3.8×30木ねじ ※本体内部に付属しています。	2	取付板固定用ねじ なべΦ3.8×13木ねじ ※本製品には使用しません。破棄してください。	2

■使用工具



φ3.2ドリル



ドライバー (+)
推奨：軸の長さ400mm程度



パイプカッター



モンキーレンチ
またはスパナ



水準器

■現場調達部材



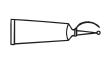
シーリング材
推奨：GVR5521



シールテープ



マスキングテープ



塩ビパイプ用接着劑

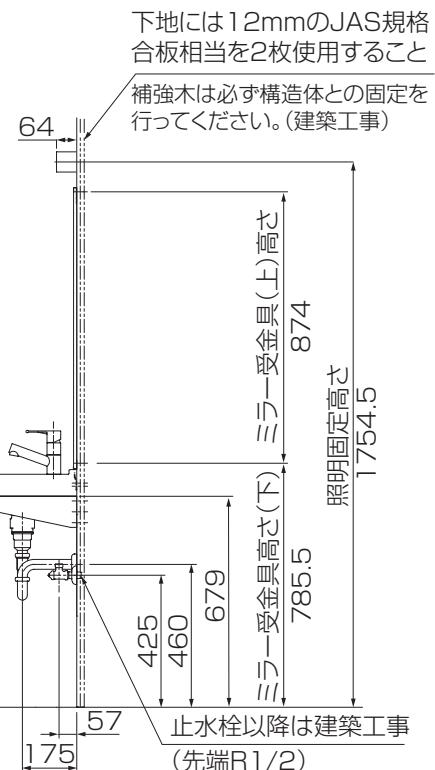
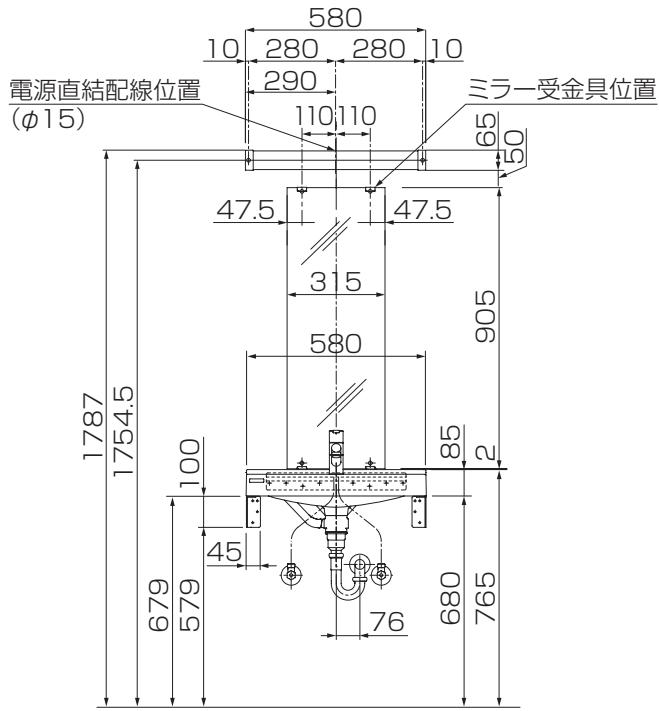
寸法図

[寸法単位: mm]

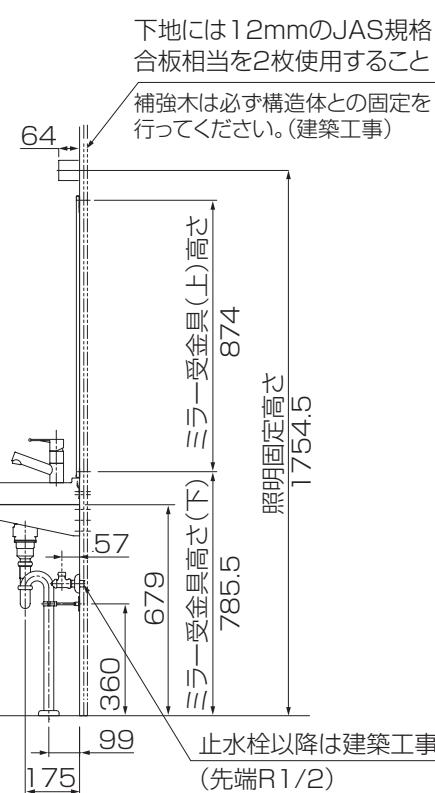
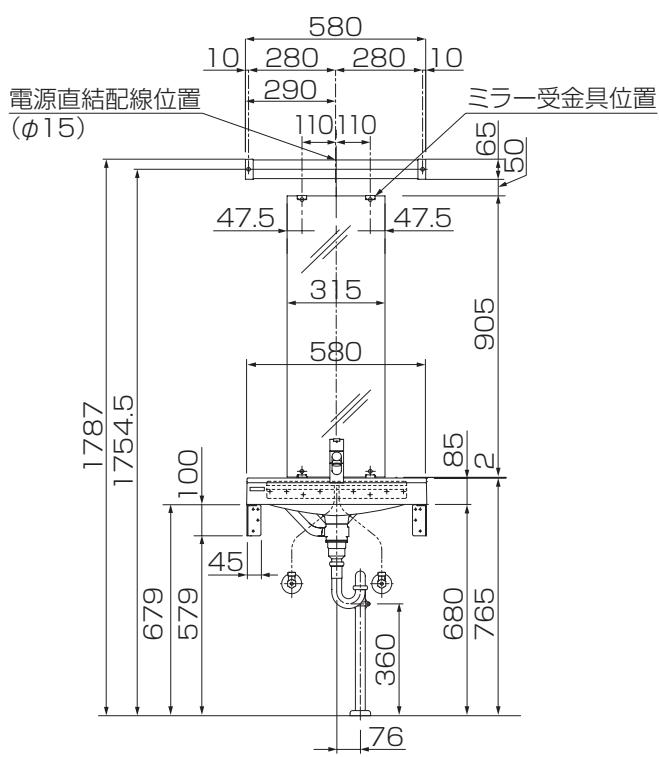
お願い

公差は±5mmを守ってください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。

■壁排水



■床排水



※電気温水器・自動水栓の取り付けかたについては、電気温水器・自動水栓に付属の取付設置説明書を参照してください。

寸法図

取付設置前の確認

〔寸法単位：mm〕

■設置位置の確認

- 湿気の多い場所には設置しないでください。
腐食するおそれがあります。
- 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
変色するおそれがあります。

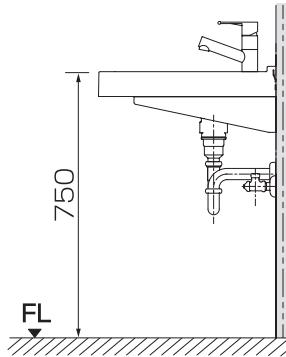
- 凹凸や不陸のある場所・スペーサーで調整しても
(9ページ参照) 洗面ボールを水平にできない場所
には設置しないでください。
変形し、破損するおそれがあります。

■桟木位置の確認

桟木位置を納まり図に従って、確認してください。

お願い

- 壁面がコンクリート・タイルの場合
固定用ねじ径に適合した市販のプラグを使用してください。
- 壁裏面に固定用桟木がない場合
壁面前に固定用桟木を取り付けるか、
12mm以上のJAS規格合板相当を
2枚貼り付けてください。



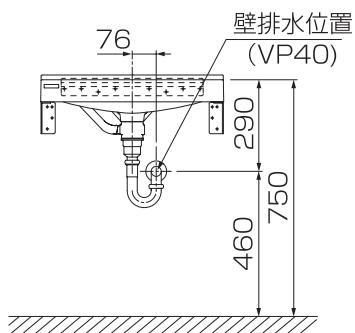
■配管位置の確認

お願い

- 公差は±5mmを守ってください。
水漏れ、拡大損害の原因となります。

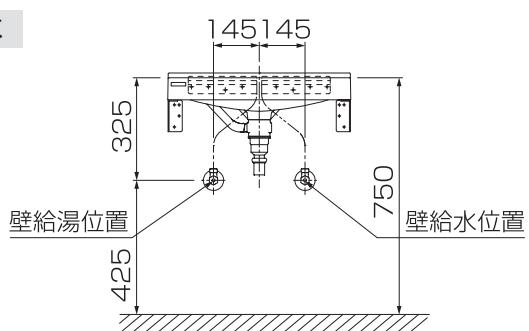
排水位置

壁排水

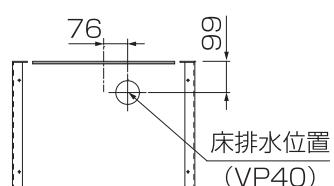


給水位置

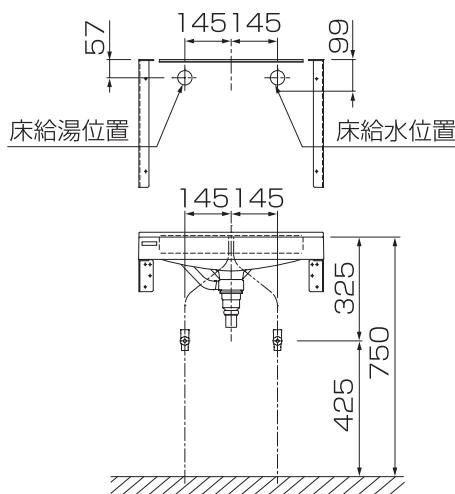
壁給水



床排水



床給水



※電気温水器・自動水栓の取り付けかたについては、電気温水器・自動水栓に付属の取付設置説明書を参照してください。

取付設置手順

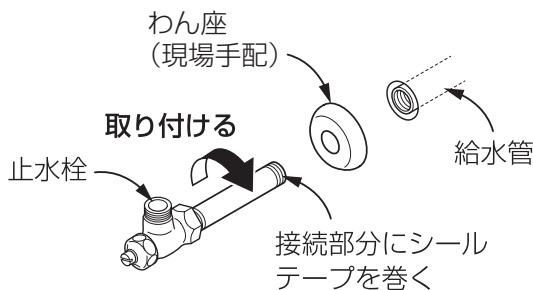
〔寸法単位：mm〕

1 止水栓を取り付ける

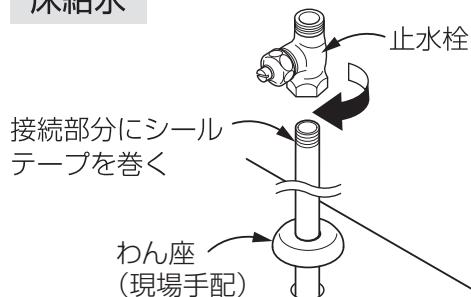
シールテープを使用し、給水管に止水栓を取り付ける。(シールテープは現場調達)

※給水管の取り付け位置・止水栓の取り付け高さを確認してください。

壁給水



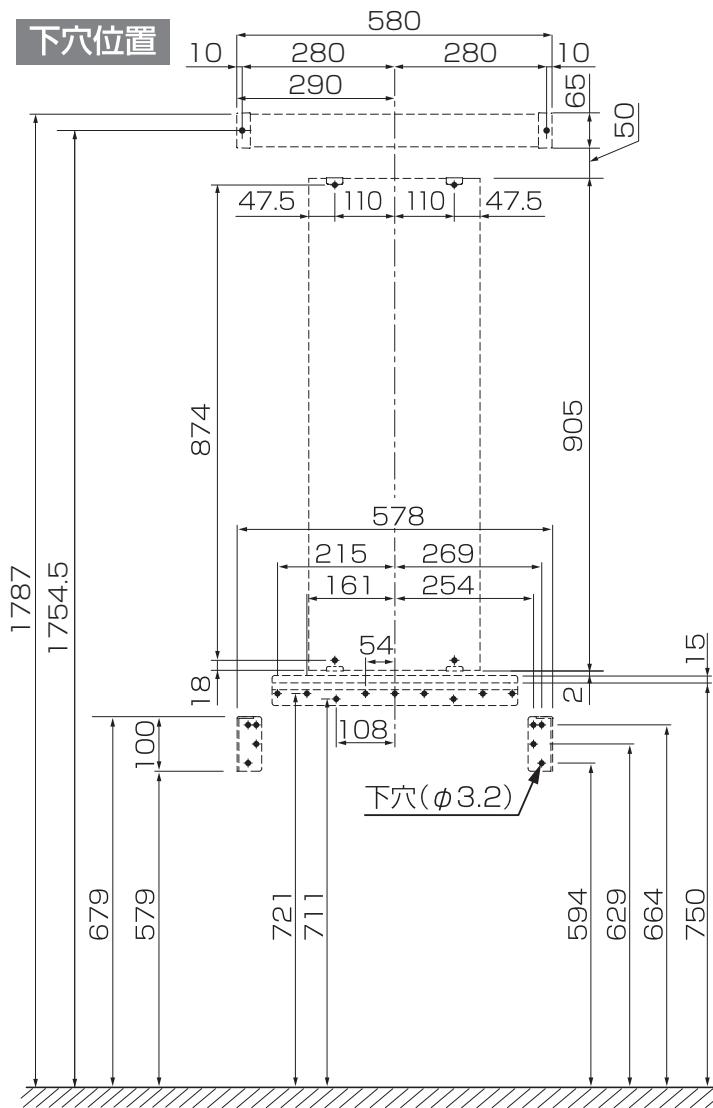
床給水



2 下穴をあける

1. 壁面に下穴位置をけがく。

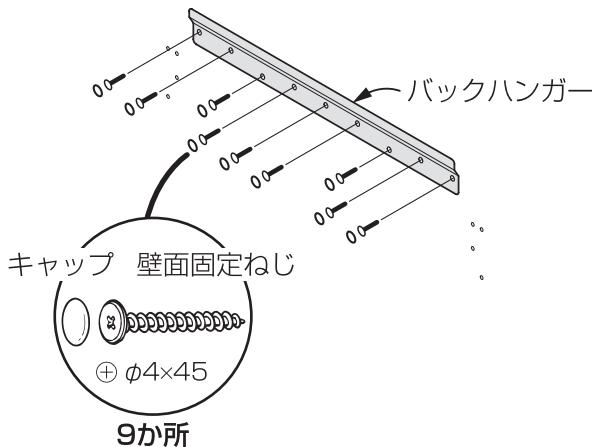
2. $\phi 3.2$ の下穴をあける。(深さ50mm以上または貫通)



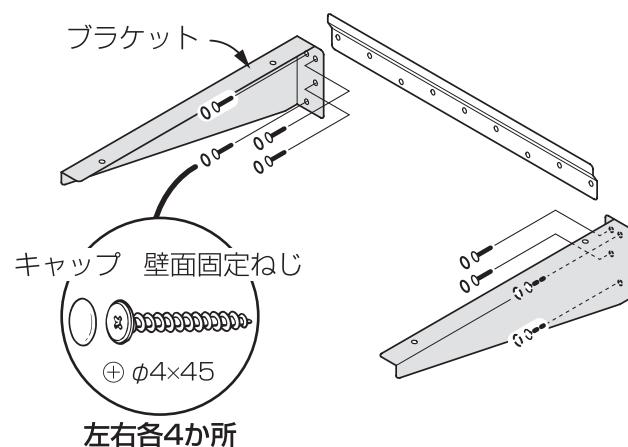
取付設置手順

3 バックハンガー・ブラケットを固定する

1. バックハンガーを壁面固定する。

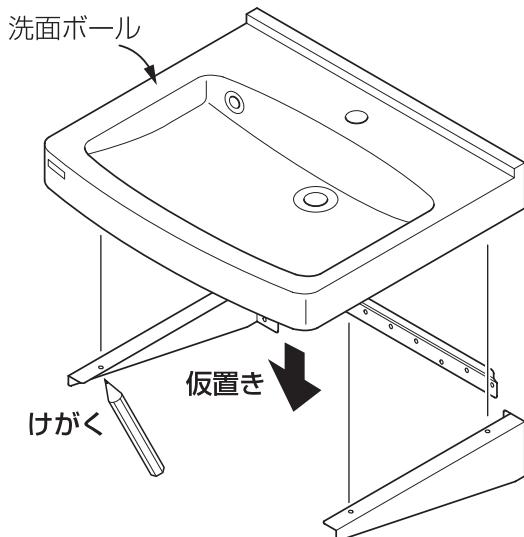


2. ブラケットを壁面固定する。



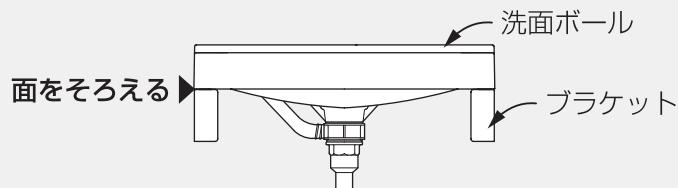
4 洗面ボールに下穴をあける

1. 洗面ボールを仮置きし、下穴の位置をけがく。

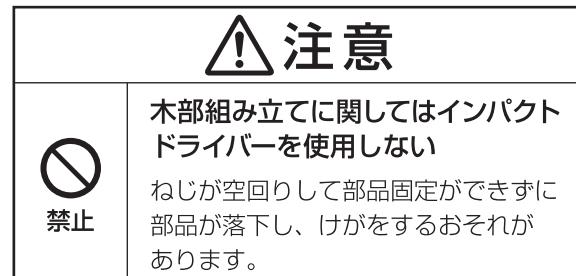
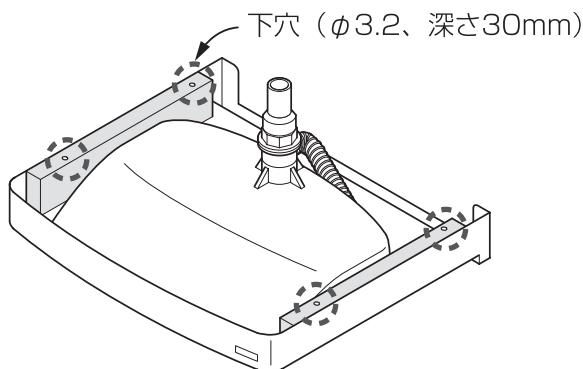


お願い

- 洗面ボールとブラケットの面がそろいうように位置合わせをしてください。
- 水栓を取り付けるまでは、洗面ボールの保護シートをはがさないでください。

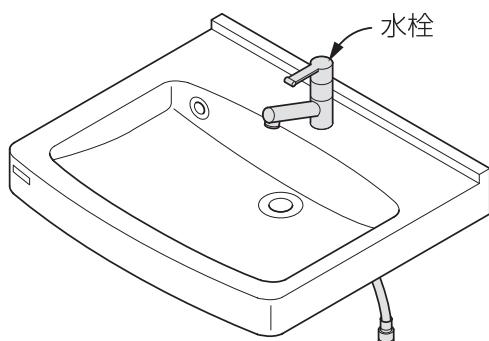


2. 4か所に下穴 (φ3.2) をあける。



5 洗面ボールに水栓を取り付ける

※水栓の取り付けかたについては、水栓に付属の施工説明書を参照してください。

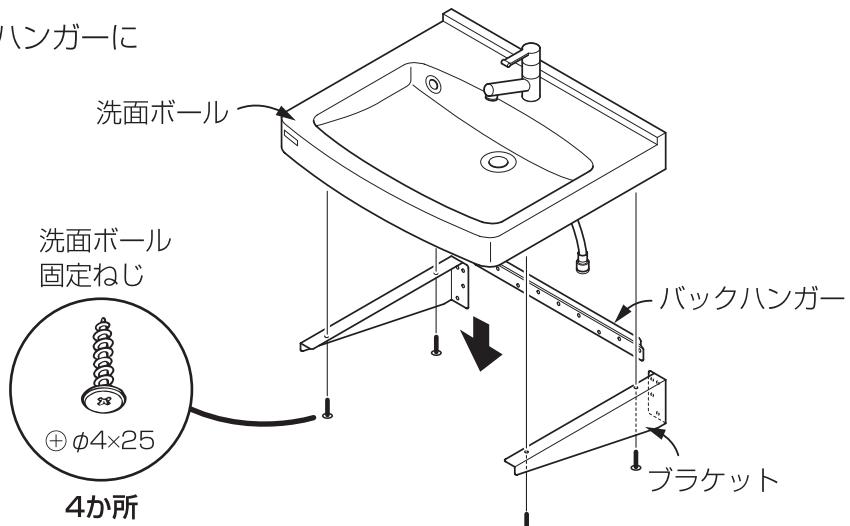


6 洗面ボールをブラケット、バックハンガーに固定する

1. 洗面ボールをブラケット、バックハンガーに仮止めする。(4か所)

お願い

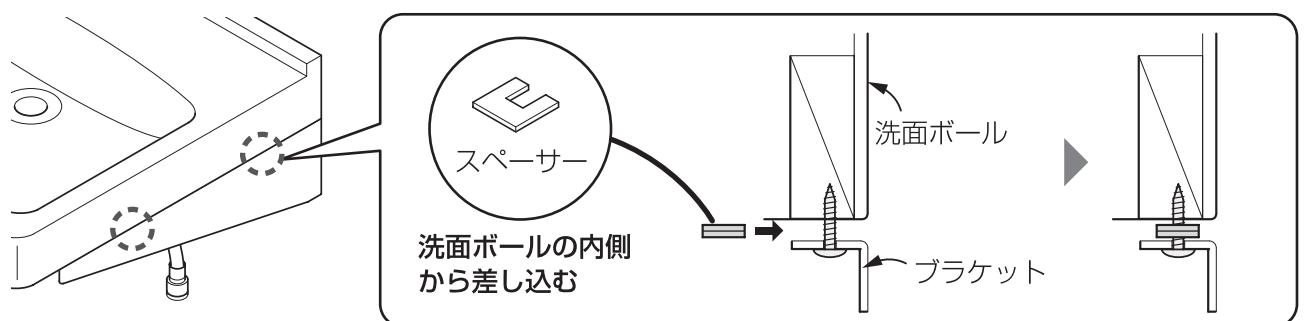
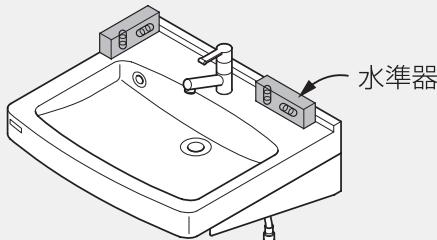
洗面ボールの水平調整を行うので、固定ねじを締めきらないでください。



2. 水準器で水平を確認しながら、スペーサーで調整する。

お願い

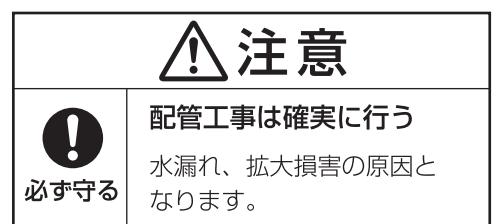
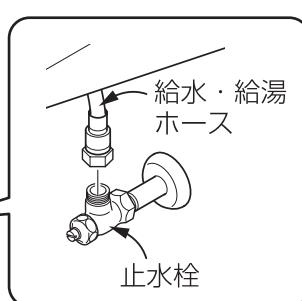
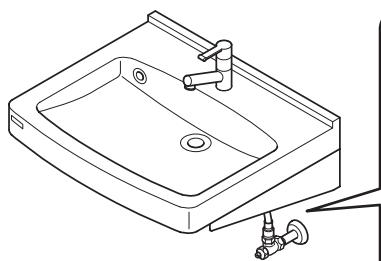
洗面ボールの壁面側と側面側の水平を確認してください。



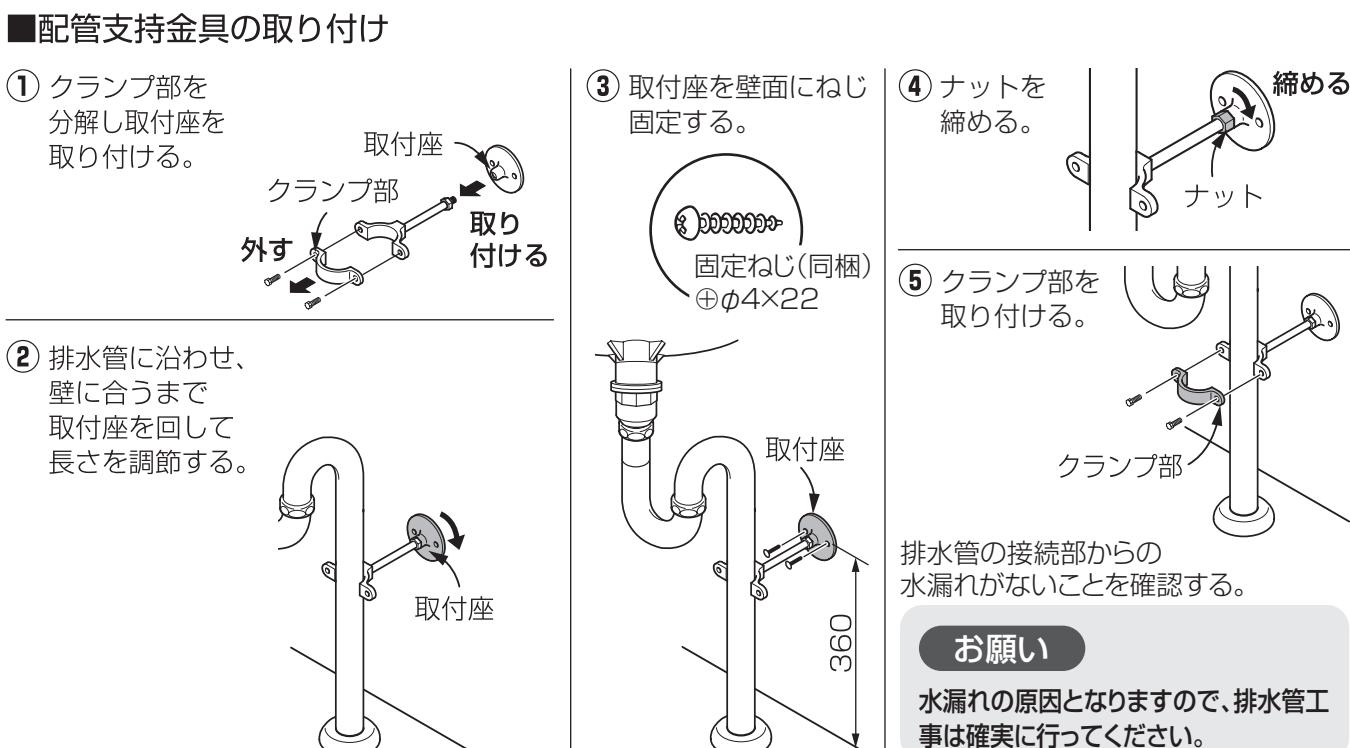
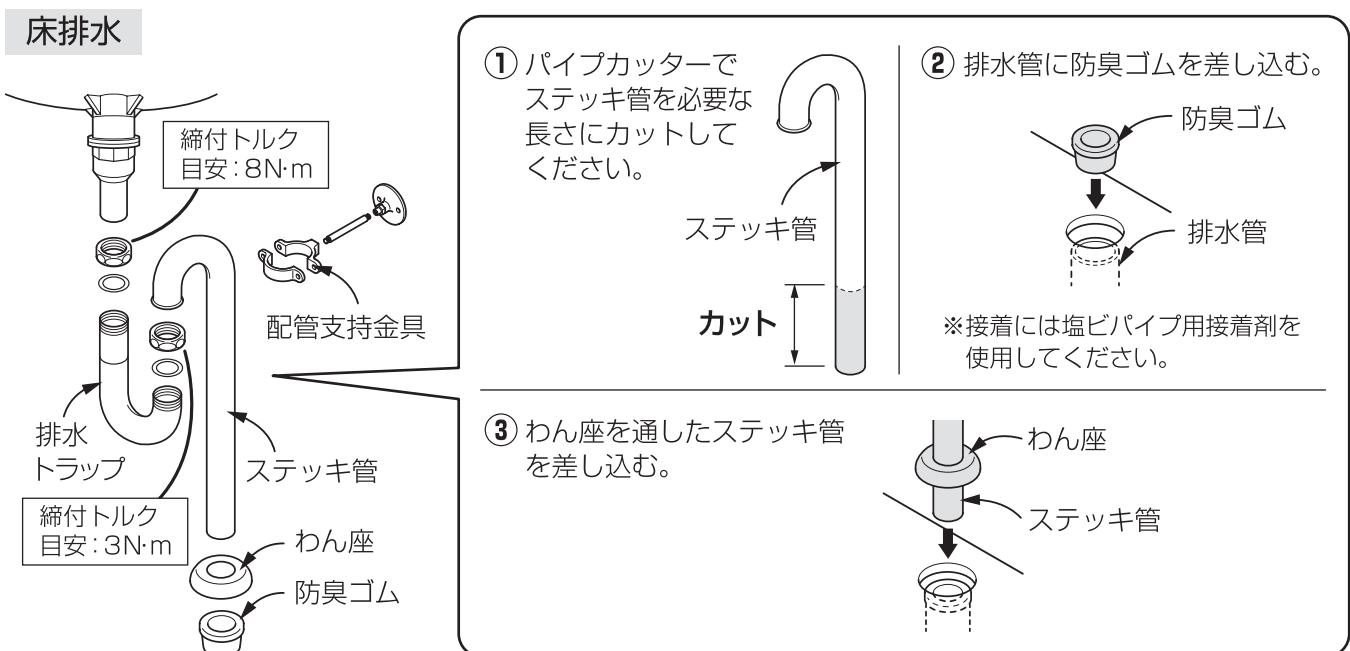
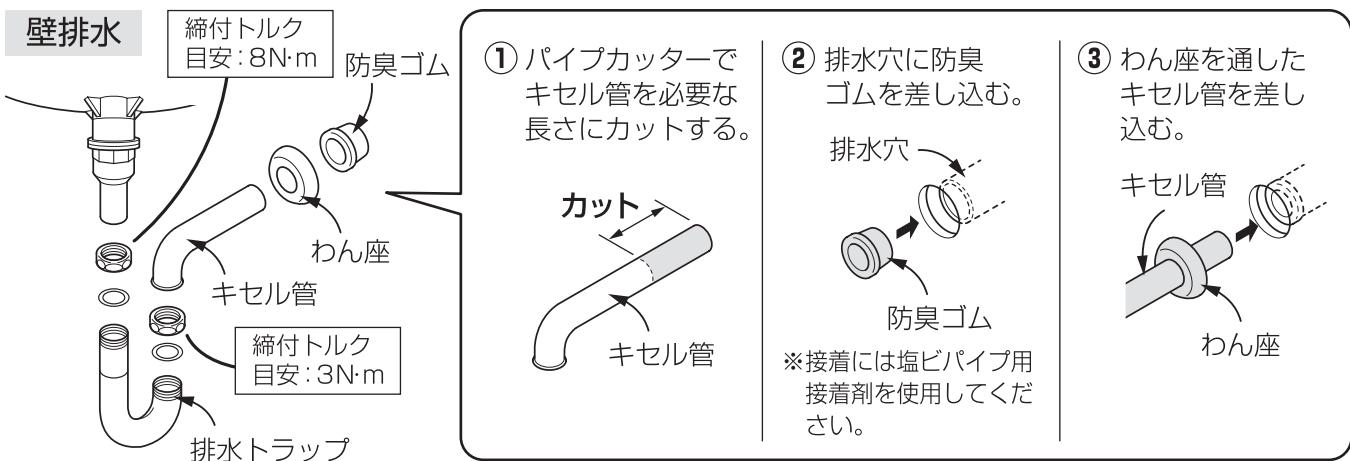
3. 洗面ボールとブラケットを本固定し、キャップを取り付ける。



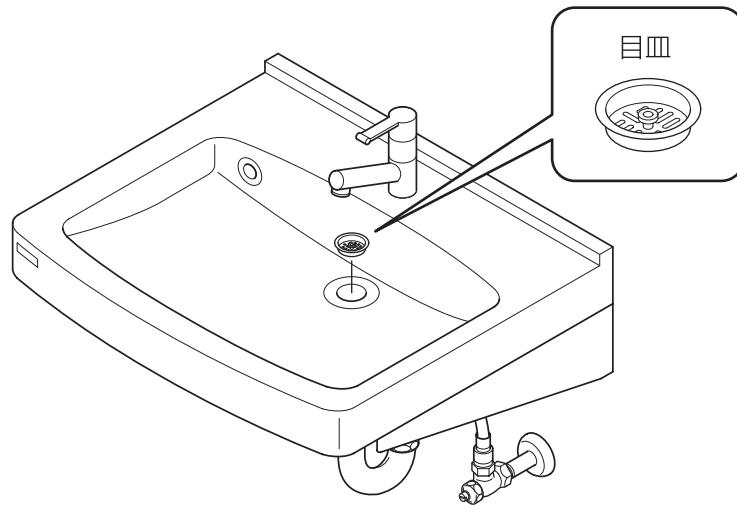
7 給水・給湯ホースと止水栓を接続する



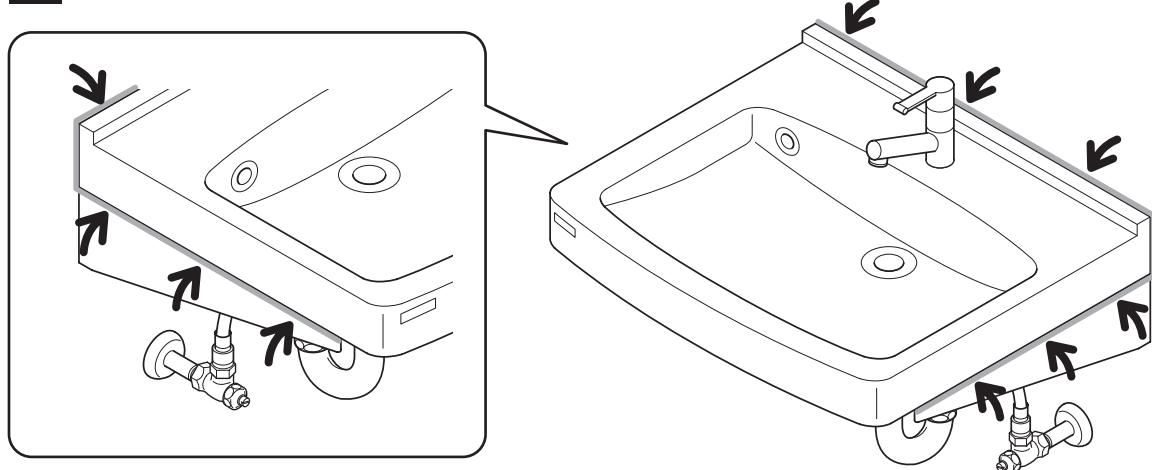
8 排水管を取り付ける



9 目皿を取り付ける



10 シーリングする <推奨: GVR5111(ホワイト)>



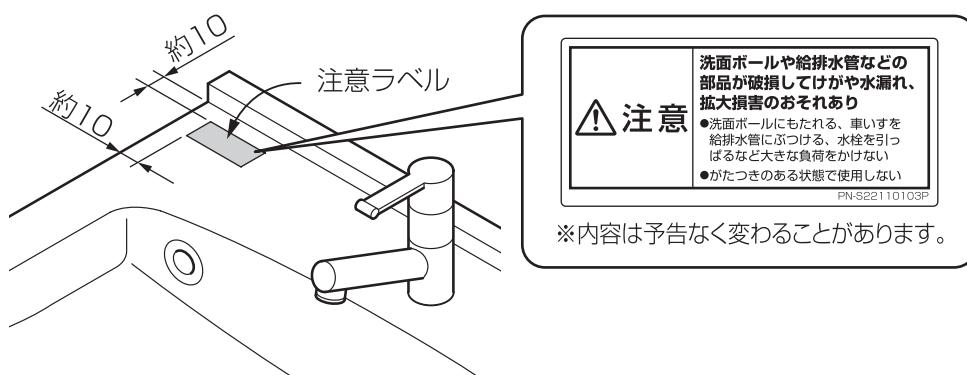
お願い

- シーリング前に、ねじ止め部にすき間や緩みがなく、がたつきがないことを確認してください。
- シーリング箇所の脇に、マスキングテープを貼り付けてください。
- すき間のないようにシーリングをしてください。



- シーリング後、マスキングテープをはがしてください。

11 注意ラベルを貼り付ける



12 ミラーを取り付ける

1. 下フレームを **2** の下穴位置に付属のねじで固定する。
2. 上フレームの左右2か所にある落下防止装置を引き伸ばし、**2** の下穴位置に付属のねじで固定する。

注意

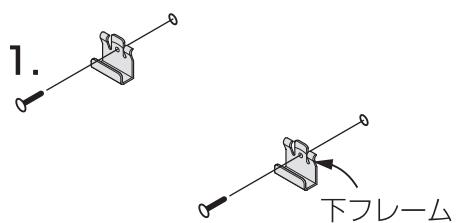
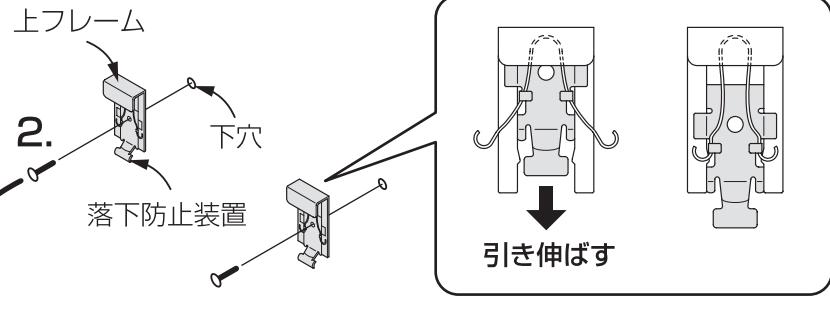


必ず守る

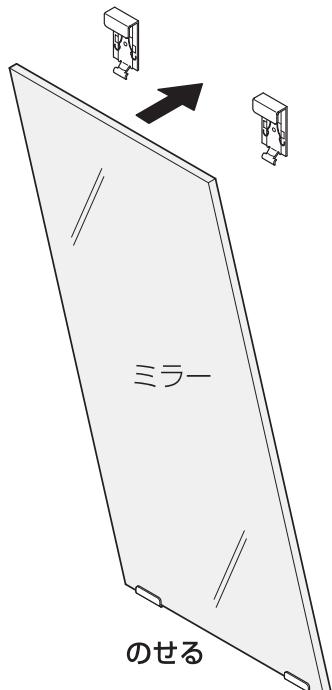
ミラーおよびミラー受け金具は取付指定位置に確実に取り付ける
使用中に外れるなど、けがの原因となります。

お願い

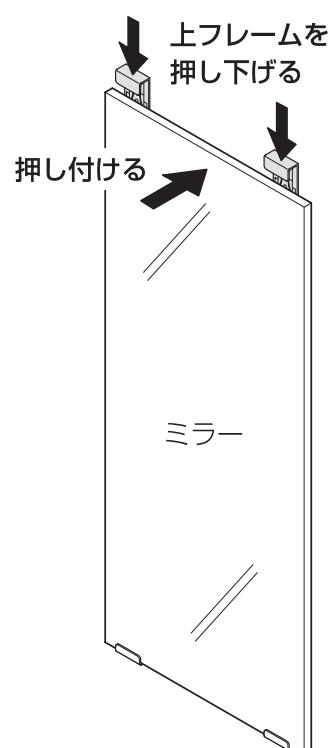
フィッシャーアンカーが同梱されている場合がありますが、本製品では絶対に使用せず、廃棄してください。



3. ミラー裏面に貼り付けている両面テープのはくり紙をはがし、ミラーを下フレームにのせる。



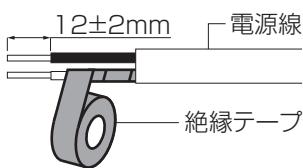
4. ミラーを壁に押し付けながら、上フレームを押し下げる。



13 LED照明（角型）を取り付ける

1. 電源線を加工する

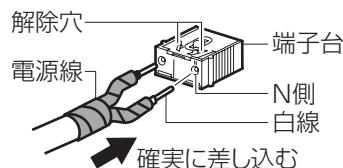
適合電線 VVF ϕ 1.6、 ϕ 2.0 単線
VVF 外被から絶縁テープを巻き付ける。



先端5~10mmはテープを巻き付けないでください
VVFの付け根も絶縁テープを巻き付ける

2. 端子台に電源線を接続する

電源の白線を端子台の N 表示側に差し込む。



◎器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜いてください。

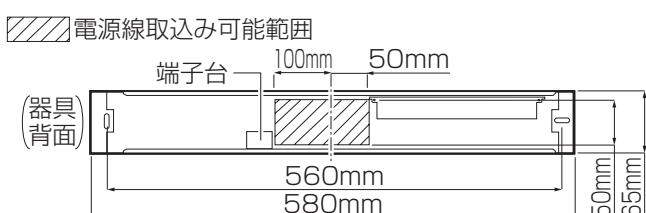
! 注意



電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

3. 本体を取り付ける

取付板固定用ねじで本体を固定する。
取付ピッチ：560mm



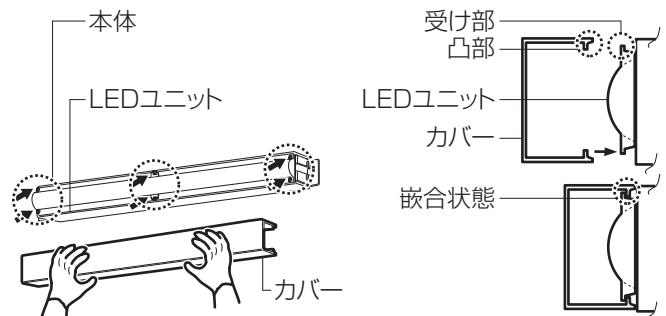
! 警告



本体取り付けの際、電源線を本体で挟まない
取り付けに不備があると、火災、感電のおそれがあります。

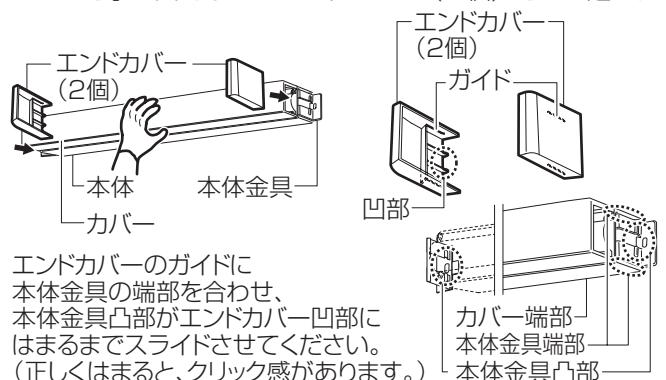
4. カバーを取り付ける

カバーを両手で持ち、LED ユニットにかぶせる。
カバーの凸部が LED ユニットの両端と中央にある受け部に掛かるように押し込んでください。



5. エンドカバーを取り付ける

カバーを手で支えながらエンドカバー（2個）をはめ込む。



! 注意



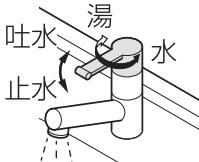
カバー、エンドカバーは確実に取り付ける
守らないと、落下の原因となることがあります。

点検（仕上げ）

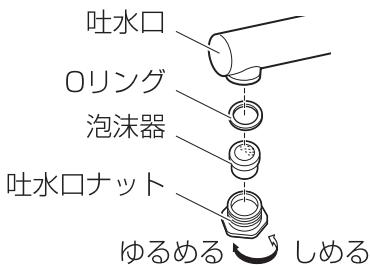
- 下記に従い、仕上がりをチェックしてください。
- 水栓の確認は、水栓の施工説明書を参照してください。詳しい点検方法が記載されています。

□ 水の出、湯の出を確認する

水栓に付属の施工説明書を参照してください。



□ 水栓通水確認後、必ず泡沫器まわりを清掃する



※詳しいお手入れ方法は、水栓の取扱説明書をご参照ください。

□ 水漏れがないか確認する

給排水接続部に外れや、ずれがないか確認する。

□ がたつき・異音がないか確認する

水栓・洗面ボールのねじ留め部にすき間や緩みがないことを確認する。

□ ブラケットの左右が間違いないかを確認する

□ バックハンガーと壁面のすき間に、洗面ボールが納まっていることを確認する

□ きれいに清掃する

やわらかい布に中性洗剤をしみ込ませてふき取る。

お願い

- シンナーなど有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤を使用しないでください。
表面がおかされ、破損、変色するおそれがあります。
- 研磨剤入り洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
表面を傷つけるおそれがあります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2024

OS0419-40123